

残留農薬検査(平成26年度 その3)

当所では、横浜市内に流通する農産物等の食品に残留する農薬の検査を行っています。平成25年度に検査項目の見直しを行い、農産物ごとに検査項目を設定しました。

今回は、平成26年8月から12月までに各区福祉保健センター及び南部市場食品衛生検査所より搬入された農産物等の検査結果を報告します。

1 市内産農産物

11月に搬入されたキャベツ、だいこんの根(各2検体)、ごぼう、さつまいも、さといも、だいこんの葉及びほうれんそう(各1検体)の計9検体について検査を行いました。これらの結果を表1に示しました。

その結果、だいこんの根1検体からクロルフェナピルが0.01ppm、だいこんの葉からアセタミプリドが0.03ppm、クロルフェナピルが0.37ppm検出されました。しかし、残留農薬の基準値を超えるものはありませんでした。検査項目及び検出限界については表2に示しました。

2 国内産農産物

11月に搬入されたはくさい(2検体)、じゃがいも、だいこんの根、トマト及びほうれんそう(各1検体)、12月に搬入されたキャベツ、さつまいも、だいこんの根、はくさい及びブロッコリー(各1検体)の計11検体について検査を行いました。これらの結果を表1に示しました。

その結果、はくさい1検体からボスカリドが0.03ppm、ほうれんそうからイミダクロプリドが0.02ppm、フルフェノクスロンが0.08ppm検出されました。しかし、残留農薬の基準値を超えるものはありませんでした。検査項目及び検出限界については表2に示しました。

3 輸入農産物

12月に搬入されたアスパラガス、かぼちゃ、さといも、パプリカ及びブロッコリー(各1検体)の計5検体について検査を行いました。これらの結果を表1に示しました。

その結果、イミダクロプリドがかぼちゃから0.01ppm、パプリカから0.02ppm検出されました。しかし、残留農薬の基準値を超えるものはありませんでした。検査項目及び検出限界については表2に示しました。

今回の検査で検出された農薬の概要については、5ページの【農薬解説】を参考にしてください。

表1 残留農薬検査結果

(H26年8月～H26年12月)

農産物	産地	検査 検体数	農薬検出 検体数	検出農薬名	検出値 (ppm)	基準値 (ppm)
市内産農産物						
ごぼう	横浜市	1	0			
キャベツ	横浜市	2	0			
さつまいも	横浜市	1	0			
さといも	横浜市	1	0			
だいこんの根	横浜市	2	1	クロルフェナピル	0.01	0.1
だいこんの葉	横浜市	1	1	{アセタミプリド	0.03	5
				{クロルフェナピル	0.37	3
ほうれんそう	横浜市	1	0			
国内産農産物						
キャベツ	神奈川県	1	0			
さつまいも	茨城県	1	0			
じゃがいも	北海道	1	0			
だいこんの根	神奈川県	2	0			
トマト	千葉県	1	0			
はくさい	茨城県	2	0			
	群馬県	1	1	ボスカリド	0.03	40
ブロッコリー	愛知県	1	0			
ほうれんそう	群馬県	1	1	{イミダクロプリド	0.02	15
				{フルフェノクスロン	0.08	10

表1 残留農薬検査結果(続き)

農産物	産地	検査 検体数	農薬検出 検体数	検出農薬名	検出値 (ppm)	基準値 (ppm)
輸入農産物						
アスパラガス	オーストラリア	1	0			
かぼちゃ	メキシコ	1	1	イミダクロプリド	0.01	1
さといも	中国	1	0			
パプリカ	ニュージーランド	1	1	イミダクロプリド	0.02	3
ブロッコリー	アメリカ	1	0			

表2 農薬の検査項目及び検出限界

農薬名	検出限界 (ppm)	A*1 B*1 C*1			農薬名	検出限界 (ppm)	A B C		
		A*1	B*1	C*1			A	B	C
BHC (α, β, γ 及び δ の和)	0.005	○*2	-*2	-	ジオキサベンゾホス	0.01	○	○	○
DDT (DDE,DDD,DDT の和*3)	0.005	○	○	○	ジクロフェンチオン	0.01	○	○	○
EPN	0.01	○	○	○	ジコホール	0.01	○	○	○
アクリナトリン	0.01	○	○	○	シハロトリン	0.01	○	○	○
アザメチホス	0.01	○	○	○	ジフェノコナゾール	0.01	○	○	-
アセタミプリド	0.01	○	○	○	シフルトリン	0.01	-	○	○
アゾキシストロビン	0.01	○	○	○	シフルフェナミド	0.01	○	○	-
アニロホス	0.01	○	○	○	シペルメトリン	0.01	-	○	○
イプロバリカルブ	0.01	○	○	○	ジメチリモール	0.01	-	-	○
イプロベンホス	0.01	○	○	○	ジメトモルフ	0.01	○	○	○
イミダクロプリド	0.01	○	○	○	スルプロホス	0.01	○	○	○
インダノファン	0.01	○	○	○	ダイアジノン	0.01	○	○	○
インドキサカルブ	0.01	○	○	○	ダイムロン	0.01	○	○	○
エチオン	0.01	○	○	○	チアクロプリド	0.01	○	○	○
エトプロホス	0.005	○	○	○	チアメキサム	0.01	○	-	○
エトリムホス	0.01	○	○	○	テトラクロルビンホス	0.01	○	○	○
エポキシコナゾール	0.01	-	-	○	テトラジホン	0.01	○	○	○
エンドスルファン (α 及び β の和)	0.005	-	○	-	テブチウロン	0.01	○	○	○
エンドリン	0.005	-	○	-	テブフェノジド	0.01	○	○	○
オキサミル	0.01	○	○	○	テフルトリン	0.01	-	○	○
オキシカルボキシ	0.01	○	○	○	トラルコキシジム	0.01	○	○	○
オリザリン	0.01	-	○	○	トリコナゾール	0.01	○	○	○
カズサホス	0.01	○	○	○	トリフルムロン	0.01	○	○	○
カフェンストロール	0.01	○	○	○	トルクロホスメチル	0.01	○	○	○
カルバリル	0.01	○	○	○	ノバルロン	0.01	-	○	○
カルプロパミド	0.01	○	○	○	パラチオン	0.01	○	○	○
クミルロン	0.01	○	○	○	パラチオンメチル	0.01	○	○	○
クロキントセト-メキシル	0.01	○	○	○	ピフェントリン	0.01	○	○	○
クロチアニジン	0.01	○	○	○	ピラクロストロビン	0.01	○	-	-
クロマフェノジド	0.01	○	○	○	ピラゾリネート	0.01	-	-	○
クロリダゾン	0.01	○	○	○	ピリフタリド	0.01	○	○	○
クロルピリホス	0.01	○	○	○	ピリミカーブ	0.01	○	○	○
クロルピリホスメチル	0.01	○	○	○	ピリミホスメチル	0.01	○	○	○
クロルフェナピル	0.01	○	○	○	ファモキサドン	0.01	○	○	○
クロルフェンゾン	0.01	○	○	○	フェントロチオン	0.01	○	○	○
クロルフェンビンホス	0.01	○	○	○	フェノキシカルブ	0.01	○	○	○
クロロクスロン	0.01	○	○	○	フェノブカルブ	0.01	○	○	○
シアゾファミド	0.01	○	○	○	フェリムゾン	0.01	○	-	-
シアノフェンホス	0.01	○	○	○	フェンアミドン	0.01	○	○	○
シアノホス	0.01	○	○	○	フェンクロルホス	0.01	○	○	○
ジウロン	0.01	○	○	○	フェンシルホチオン	0.01	○	○	○

表2 農薬の検査項目及び検出限界(続き)

農薬名	検出限界 (ppm)	検出限界			農薬名	検出限界 (ppm)	検出限界		
		A	B	C			A	B	C
フェントエート	0.01	○	○	○	ヘプタクロル(エポキシドを含む)	0.005	○	-	-
フェントラザミド	0.01	○	○	○	ペルメトリン	0.01	○	○	-
フェンバレレート	0.01	-	○	○	ペンシクロン	0.01	○	○	○
フェンピロキシメート	0.01	-	○	○	ベンゾフェナップ	0.01	○	○	○
フェンプロパトリン	0.01	-	○	○	ベンダイオカルブ	0.01	○	○	○
ブタフェナシル	0.01	○	○	○	ペントキサゾン	0.01	○	-	-
ブタミホス	0.01	○	○	○	ボスカリド	0.01	○	○	-
フラメピル	0.01	○	○	○	ホスチアゼート	0.01	○	○	○
フルシトリネート	0.01	-	○	○	マラチオン	0.01	○	○	○
フルバリネート	0.01	-	○	○	メタベンズチアズロン	0.01	○	○	○
フルフェナセット	0.01	○	○	○	メキシフェノジド	0.01	○	○	○
フルフェノクスロン	0.01	○	○	○	メビンホス	0.01	○	○	○
フルリドン	0.01	○	○	○	モノニユロン	0.01	○	○	○
プロシミドン	0.01	○	○	○	ラクトフェン	0.01	○	○	-
プロチオホス	0.01	○	○	○	リニユロン	0.01	○	○	○
プロピザミド	0.01	-	○	○	リンデン(γ -BHC)	0.002	○	○	○
ヘキサフルムロン	0.01	○	-	-	ルフエヌロン	0.01	-	○	○

- *1 A:かぼちゃ、だいこんの葉、トマト、パプリカ、ブロッコリー、ほうれんそう
 B:アスパラガス、キャベツ、だいこんの根、はくさい
 C:ごぼう、さつまいも、さといも、じゃがいも
- *2 ○:実施、-:実施せず
- *3 DDTは*p,p'*-DDE、*p,p'*-DDD、*o,p'*-DDT及び*p,p'*-DDTの和

【農薬解説】

○アセタミプリド

『モスピラン』などの商品名で販売されている殺虫剤で、広範囲の害虫に対して効果があります。

○イミダクロプリド

『アドマイヤー』などの商品名で販売されている殺虫剤です。特にハモグリガ類に効果があり、従来の殺虫剤に抵抗性のある害虫に対しても効果があります。

平成26年度に実施した検査において、こまつな(市内産)やほうれんそう(国内産)からも検出されました。

○クロルフェナピル

『コテツ』などの商品名で販売されている殺虫剤です。多くの野菜に適用があり、従来の殺虫剤に耐性がある害虫に対しても効果があります。

平成26年度に実施した検査において、なす(市内産)やトマト(国内産)からも検出されました。

○フルフェノクスロン

『カスケード』などの商品名で販売されている殺虫剤で、広範囲の害虫に対して効果があります。

平成26年度に実施した検査において、トマトやほうれんそう、レタス(国内産)からも検出されました。

○ボスカリド

『カンタス』などの商品名で販売されている殺菌剤で、菌核病菌や灰色カビ病菌などの感染を防ぐ効果があります。

※参考文献

- ・社団法人日本植物防疫協会，農薬ハンドブック2011年版